

東葉高校作成 オリジナルガイドブック

とよさんぽ

in

飯山満



飯山満駅周辺4箇所のスポットを
東葉高校の生徒たちが
レポートしたポン!



めぐりスポット

1

飯山満を一望できる
見晴らしの良い場所!

飯山満の丘

2

住宅街の中にたたずむ
和の静けさ

東福寺

3

隠れたパワースポット!

ゆるぎ地蔵

4

開発地の中から
明治へタイムスリップ!?

東葉門



はじめに



東葉高校のある船橋市飯山満町。

皆さんはこの「飯山満」というまちに

どのような歴史があるか知っていますか？

縄文時代の遺跡もあり、遥か昔から人々が生活を営んできた歴史あるまちです。

今回は東葉高校で放課後実施した企画「とよさんぽin飯山満」から、飯山満駅周辺めぐりスポットをご紹介します。

ガイドブックの写真は「写真同好会」生徒が撮影したものです！

めぐりスポット



『とよさんぽ』当日(6/5)は放課後、皆で飯山満駅に集合してスタート！

東葉高校で人気の校長企画「この指と〜まれ」のフィールドワーク型企画「とよさんぽin飯山満」を実施しました。

学校がある飯山満駅周辺のスポットをめぐり地域の方からお話を聞く、地域密着と新たな発見がテーマです。

企画当日は天候にも恵まれ、生徒の皆さんも晴れやかな笑顔で参加。校長先生からはじめの挨拶をいただき、いざ飯山満のまちへ出発！



『この指と〜まれ』企画について



東葉名物の校長企画！

校長先生自ら運営するイベント。生徒が自分でイベントを選び、自ら校長室に出向き扉を叩いて申し込みます。主体性の向上、体験を通しての人間力向上を目的としています。

東葉高校公式マスコットキャラクターとよすけについて



東葉門をはじめ東葉高校付近で何度も目撃されているたぬきがモチーフの生徒考案キャラクター。イベントで会えるかも!?

1 飯山満の丘



飯山満を一望できる 見晴らしの良い場所

東葉高速鉄道の開業以来、飯山満駅を中心に公共施設整備や土地利用の再編成を行うなど飯山満土地区画整理事務所では計画的なまちづくりを推進しています。

令和8年(2026年)開通を目標に都市計画道路3・4・27号線(飯山満駅～前原駅)を整備しており、完成後には津田沼～飯山満のアクセスが格段に向上します。

飯山満の丘は、飯山満のまちを一望できる壮観さに加えて、都市開発の変遷を見ることができる「まちづくりのホットスポット」です。



丘の頂上はマンション
4階くらいの高さがあるポン!
階段がなだらかで安心して
登れるポン♪



緑の中に見える スカイツリーや東葉高校!

丘の中腹の見晴らしのいい場所に安置されているのが馬頭観音像。
この場所は今後憩いの場としてポケットパークに整備する計画もあります。

森林の先に見える東葉高校。さらに丘を上がるとスカイツリーが登場!
丘の上から見える景色は、その日の天候やその時の気分で色々な表情を見せてくれます。

※生徒はiPadで一生懸命説明をメモしています!



飯山満駅周辺の開発について お話を伺いました。

飯山満 土地区画整理
事務所長 西脇さん



土地区画整理は事業半ばで
道路も開通していないところがあり
申し訳ないのですが、皆さんが卒業した後、
数年後に発展した飯山満駅周辺を
また見に来ていただけたらと思います。

2 東福寺



住宅街の中にたたく 和の静けさ

医王山東福寺は真言宗豊山派のお寺です。本尊は薬師如来。

飯山満地域は1丁目、2丁目、3丁目ともに真言宗豊山派のお寺があり、東福寺は2丁目にあります。

室町時代の開山とも江戸時代の開山とも諸説謂れがあります。

東葉門の主(あるじ)、地域の名主総代近藤家ゆかりの寺として地域に根づく歴史あるお寺です。

飯山満の丘から通じる、住宅街の細道を抜けた先に現れる真紅の山門。日々の喧噪を忘れさせ心にひとときの静寂を与えてくれるお寺です。



大晦日に地域の方を招いて、鐘楼堂(しょうろうどう)で鐘撞(かねつき)を体験してもらってるポン!



金色の仏様とクールな六地藏!

先代ご住職のご逝去から数年の間が空いたのち、阿部住職は近年東福寺のご住職となりました。

東福寺を引き継いで以降、お寺の境内や仏具などをはじめ、檀家の方に限らず地域の人々が集う場とするための整備を行ってきました。

お寺にある輝きは新しさではなく、歴史あるお寺を令和の時代に継承し大切に作る姿勢。

シュツとした表情の六地藏は季節に合わせた衣を纏い、クールさの奥にある温かい心で皆さんを迎えてくれます。



Interview

東福寺についてお話を伺いました。

東福寺 阿部住職



お寺体験はどうでしたか?
令和の時代からタイムスリップできたのではないのでしょうか?
地域を理解し、大切に思い、誇りを持ってください。そして、地域のために貢献できる人になってください。



隠れたパワースポット！

江戸時代、この地には「揺ぎの松」という巨大な松の木がありました。谷を覆うほどの巨木で、根が地上から立ち上がり、根方をくぐると梢まで揺らいたのでこの名がついたといわれます。

この松が枯死した際、それを惜しんだ里人が※木食僧(もくじきそう)に「揺ぎの松」から二体の地蔵菩薩像を彫ってもらいました。小さい地蔵菩薩像を薬円台高幢庵に、大きい「ゆるぎ地蔵」を松の木がもともとあった場所に残しました。

ゆるぎ地蔵は、船橋市の有形文化財(彫刻)で最初の指定を受けた松材の一木造りの座像で、座高172cm、重さは950kgあります。飯山満のまちをやさしく見守り、訪れる人を慈悲深い眼差しで迎えてくれるお地蔵さまです。

※木食僧…肉類、米穀、野菜を常用せず、木の実や果実のみを食す修行僧



今まで見たことないくらい大きいお地蔵さまだポン！
とても大きな松の木だったことがわかるポン！



約300年前の松から造られたゆるぎ地蔵



飯山満のまちの皆さんが、江戸時代より300年以上に渡り大切に守り伝えてきたゆるぎ地蔵。

船橋市民の貴重な文化遺産としてこの先も後世に守り伝えるため「ゆるぎ地蔵保存会」を中心に今も大切にされています。

ゆるぎ地蔵の前を通り過ぎる際に手を合わせる方も多く、三橋保存会長いわく「継続的に願い事をするとう願いが叶う」そうです。ぜひ皆さんも長い歴史により培われたパワースポットを訪れてみてはいかがでしょうか？



Interview

ゆるぎ地蔵についてお話を伺いました。

ゆるぎ地蔵保存会長 三橋さん



今回この指と〜まれ企画での「とよさんぽin飯山満」にてゆるぎ地蔵が選ばれ東葉高校の皆さんとの出逢いに感謝いたします。今までは地域との関わりがさほどありませんでしたが、これをご縁にお互い飯山満の歴史等を学んで魅力ある「まち」に育てていけたらありがたいです。

4 東葉門

開発地の中から 明治へタイムスリップ!?

東葉門はもともと、江戸時代に上飯山満村(かみはざまむら)の豪農であった近藤 四郎左衛門家の屋敷にあった門でした(明治中期頃の建立と推定)。この地域の名望家である近藤家は百姓身分でありながら、幕府の牧場を管理する牧士に任じられるほど、格式の高い家柄でした。

写真にあるような形の門は「長屋門」と呼ばれます。このように大きいもので保存状態がよい長屋門は、そう多くはありません。東葉高等学校の校舎移転の際にこの長屋門を「東葉門」と改め、生徒が登下校時にくぐる正門としています。

開発の進むまちを抜けた先で、日々生徒をあたたく迎えてくれます。



漆喰の白い壁が目立つポン!



国登録有形文化財 大きな東葉門が見どころ!

建造物・工芸品・書跡等の有形の文化的所産で、我が国にとって歴史上、芸術上、学術上価値の高いものを総称して「有形文化財」と呼びます(文化庁HPより)。

令和7年(2025年)に迎える船橋学園創立100周年の記念事業として東葉門の調査・整備を行い、以降も生徒や地域の方々との東葉門の価値を共有しながら文化財の維持に努めます。



長屋門の中を利用して、東葉高校創立のころの物や写真を展示しています。



みんなが横に並んでもまだ広い門だポン♪



Interview

東葉門について お話を伺いました。

東葉高等学校 渡辺先生



過去に作られたものを壊すと、二度と元には戻りません。みなさんが通学時にくぐっている東葉門は、過去と現在を繋ぐ門とも言えます。過去に生きた人たちを想像したり思い出したりするきっかけになるのが、東葉門のような歴史的な文化財です。みんなで東葉門を大事にしてほしいです。



『とよさんぽ』ガイドブック作成講座

6/19実施

「とよさんぽin飯山満」は地域をめぐるフィールドワークを終えたのち、地域の方々との触れ合いの振り返りとまとめを兼ねたガイドブック作成講座を実施しました。

写真同好会が撮影してくれた写真をもとに振り返りを行い、ガイドブックの基本構成を学び、ガイドブックに掲載するための各スポットのキャッチコピー、リードコピー、イメージカラーについてアイデアを出し合いました。

ここまでご覧いただいたガイドブックはいかがでしたでしょうか？

ゆるぎ地蔵保存会長の三橋さんも一緒にガイドブックの内容を考えてくれたポン♪生徒のみんな！お疲れさまポン！



Interview

『とよさんぽ』に参加された感想をお伺いしました。

Yデザインインターナショナル(株) 代表取締役 野口さん



とよさんぽをご一緒させていただき、東葉高校の教職員の方たちと生徒の皆さんが仲良く、とても明るく前向きな雰囲気であるのが印象的でした。卒業されてしばらくしてから、『あの頃は駅の周り何にもなかったよね、歩いたよね』と思出すことでしょう。

近くにコンビニやカラオケがある高校はたくさんありますが、学校にあのような長屋門のある高校は他にはないと思います。貴重な『場』で、素敵な仲間と過ごした3年間はみなさんの宝物となることでしょう。飯山満の住民として、とよさんぽという貴重な体験に参加させていただきありがとうございました。

参加した生徒からの感想

Fさんの感想

今後飯山満がどうなるかは分かりませんが、都市化が進んでも自然や歴史が継承されていて嬉しいです。

Yさんの感想

今と昔の飯山満について調べて良かったです。もっといろいろな地域の歴史も知りたくなりました。

Nさんの感想

今回のとよさんぽでは「飯山満」という場所について理解が深まりました。前半では見どころや歴史などを学ぶことができとても勉強になりました。このように個人ではなく学校という形で行くことができたので、友達との交流も深めることができ、意見交換もすることでより深い学びを得られたと思います。とよすけに会えるかも・・・？また、後半では自分たちでパンフレットのレイアウトを決めて作成することができたので、改めて振り返りを行うことができ、思い出に残りました。東葉高校に在籍しているかぎり、飯山満を知るにはとても良いこの企画には是非参加してほしいです！

Kさんの感想

普段はあまり通らない高台や東福寺、ゆるぎ地蔵、東葉門の内部などを見て回り、飯山満の土地の成り立ちや歴史、仏教についての話も聞くことができてとても良い経験となりました。ガイドブック作成講座では、とよさんぽのポスターデザインができるまでのプロセスやみんなでキャッチコピーやリードコピー、イメージカラーを決めるといったデザインについての話や体験ができ、私は将来、デザイン系の仕事をしたいと考えていたのでとてもためになりました。

Hさんの感想

地域のお寺の人や文化財を保存している方など、普段話を聞くことがない方々と話すことができて楽しかったです。

Tさんの感想

身近にある場所それぞれに深い歴史があることがよくわかり、面白かったです。

Hさんの感想

写真同好会として皆さんの様子を撮影するという楽しい時間を過ごさせて頂きました。とよさんぽを通して、飯山満について理解できたことを嬉しく思います。先生方や地域の皆様、このような機会をくださり本当にありがとうございました。

Mさんの感想

とよさんぽスタッフとして、企画の写真を撮影させて頂きました！企画当日は天候に恵まれ、楽しい雰囲気の中で撮影をすることができました！最後になりますが、本企画に参加して下さった生徒の皆様、本企画に携わって下さった皆様、この場を借りて感謝申し上げます。

Iさんの感想

高校から徒歩で、お寺や綺麗な景色が見られることに驚きました。自然や歴史豊かな町であることを改めて知る良い機会となりました。地域の方のお話が聞けて良かったです。

とよすけも昔と飯山満の歴史を学ぶことができ、とても楽しかったポイント振り返りの講座も勉強になったんだポン！



Interview

『とよさんぽ』を終えて

とよさんぽガイド教員 東葉高等学校 峯先生



地域の方と生徒と学校を、歴史と地理で繋ぐ取り組み。それも校長先生をはじめ各教科の先生方や写真同好会も加わってのコラボ企画。参加生徒の皆さんも2時間、目を輝かせながらのとよさんぽでした。ぜひ今後も地域の方々との触れ合いを生徒の皆さんと企画していきたいです！